



令和7年度全県消防団長研修会が
10月17日(金)、イヤタカ(秋田市)
において、消防団長など消防関係者
約50名が参加し開催されました。
これまでの研修会では、日本消防
協会から派遣された講師による講演
と講師との対面で意見交換を行つて
いましたが、今回は趣向を変えて、



参加者が自由に意見を交わし、課題
の共有とお互いの考え方を理解し合う
ワールドカフェを行いました。
初めに、阿部一彦副会長が、本県
の団員減少の現状と将来予測につい
て説明しました。その後、3グループ
に分かれて指定されたテーマにつ
いての議論と発表をメンバーを入れ
替えながら行いました。各グループ
とも活発な議論が行われ、各地域の
取り組みや多様な考え方を理解でき
て有意義な会議になりました。

・由利本荘市では、20代の女性団員
が増えていて、それに伴い若い男
性団員の入団も見られるので、若
い人たちが同世代に声を掛けて入
団に繋げるのが効果的。

令和7年度全県消防団長研修会



題字 初代会長 松野盛吉
発行人 〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 植渡徹
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印刷 〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

2025年度全国統一防火標語
足止め火を止め
準備よし

■議論のテーマ

①消防団員の確保・定着

②災害多発時代の消防団の役割と体制強化

③地域における消防団の再構築

④消防団長としてのリーダーシップと組織運営

⑤消防団活動と本業・私生活の両立支援

⑥訓練大会のあり方(現状と方向性)

⑦消防団運営上の問題点

■発表(抜粋)

グループ1 テーマ⑦

・被雇用者率が高くなつており、日

中の災害に対応するためには経営
者だけでなく現場の上司の理解が
不可欠。北秋田市では、団員が多い
100社程度に毎年消防長と団
長が訪問し、御礼と勧説に対する
協力をお願いしている。

・幹部が誘うより、同世代が勧説し
て一緒に活動しやすい環境を作る
ことが大切。

グループ2 テーマ②

・自主防災組織との連携強化が必要。
火災時は水利確保が重要。地元の
人は知っているが近隣の班や団体
は現地を知らない。



東北地区消防連絡協議会 が開催されました



令和7年度東北地区消防連絡協議会は11月20日(木)、新潟県十日町市「あてま高原リゾートベルナティオ」を会場に、東北地区7県(新潟県含む)の消防協会から会長、副会長、事務局員ら50名が出席して開催されました。

会議では、各県が提出した要望事項や照会事項について協議し、福島県提出の「全国女性消防団員活性化大会の日程について」を日本消防協会に要望することとしました。

また、来年度は山形県で開催することが決りました。

照会事項(抜粋)

■分団の合併におけるメリットと円滑化の工夫について(青森県)

団員の減少に伴い、本県では分団の合併を進めたい自治体が増えていく。合併を円滑に進めるためには、管理側・団員側双方に納得感やメリットを示すことが重要。各自治体における工夫や成功事例、メリットをご教示願いたい。

〔秋田県の状況〕

(メソッド)

- ・消防資機材管理の負担軽減
- ・組織運営の効率化、消火技能等の共有がしやすい。
- ・管轄区域が広域となり、入団勧誘がしやすくなる。
- ・丁寧な説明を重ね分団間の交流が促進され降格人事に理解を得られた事例や、同格の独自階級を設け降格しないという消防団もあつた。

〔新潟県の状況〕

(メソッド)

- ・団員数増加による団員の負担軽減
- ・消防器具置場、消防車輌、資機材等の維持管理の負担軽減経費削減
- ・団員自身で検討・実行・改善することで、団員自身のモチベーション向上を図っている。

■各種表彰の徽章(バッチ)贈与について(宮城県)

徽章は県独自のデザインで受注生産のため価格は上昇し、製作業者も減少している。現状のまま贈与を継続するためには、他事業の予算削減が必要で困難な状況である。特に在職年数に応じて贈与する徽章については、岐路に立つていると感じる。各県の状況をお聞かせ願いたい。

〔青森県の状況〕

(メソッド)

- ・表彰や徽章を絶対変えられないものとして固定的に捉えるのではなく、時代や団員の意識に即した形を模索することが重要。より適切な在り方について検討したい。
- ・現在のところ、徽章の贈与の見直しや代替品についての検討は行っていない。

〔福島県の状況〕

(メソッド)

- ・現在のところ、見直しや代替品の予定はない。

〔岩手県の状況〕

(メソッド)

- ・物価上昇は徽章だけではなく、他事業も縮小や削減を迫られている状況。協会事業を継続していくためには、徽章の贈与を廃止し表彰状のみの授与も検討しなければならないと考える。表彰は、消防職員への敬意の証であるが、団員の意識変化、徽章の価値にこだわらない風潮も感じる。

令和7年度 防災功労者内閣総理大臣表彰



同消防団は、昨年7月25日からの大雨に際し、昼夜にわたる河川巡視や住民の避難誘導、人命救助等を行い、被害の軽減に多大な貢献をしたことが評価されました。

大雨に際し、昼夜にわたる河川巡視や住民の避難誘導、人命救助等を行い、被害の軽減に多大な貢献をしたことが評価されました。

令和7年度防災功労者内閣総理大臣表彰式が9月17日(水)、総理官邸で行われ、本県から由利本荘市消防団が表彰を受けました。

この表彰は、災害時の防災活動の実施、平時における防災思想の普及や防災体制の整備で功績が顕著な団体又は個人を表彰するものです。

市消防団が表彰を受けました。

この表彰は、災害時の防災活動の実施、平時における防災思想の普及や防災体制の整備で功績が顕著な団体又は個人を表彰するものです。



令和7年秋の叙勲・褒章

第45回危険業務従事者叙勲

令和7年秋の叙勲・褒章及び第45回危険業務従事者叙勲の受章者が11月3日に発令されました。

本県の消防関係では、叙勲22名、褒章2名、危険業務従事者叙勲で8名が受章されました。11月5日に秋田県正庁において、知事伝達式が行われました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。

令和7年秋の叙勲

瑞宝單光章(22名)

元横手市横手消防団

分団長 高橋 藤七

元横手市雄物川消防団

分団長 佐藤 芳夫

元湯沢市消防団

副団長 伊藤 一

元大仙市消防団

副団長 進藤 文隆

元美郷町消防団

分団長 高橋 忠美

元大仙市消防団

分団長 藤谷 知義

元秋田市消防団

副団長 鈴木 利部

元大仙市消防団

分団長 高橋 和夫

元大館市消防団

副団長 佐藤 敏

元湯沢市消防団

分団長 北林 茂政

元秋田市消防団

分団長 佐藤 進

元潟上市消防団

分団長 菊地 啓一

分団長 角田 茂一

分団長 照井 勇一

分団長 原田 美徳

分団長 佐々木 正

分団長 佐藤 定久

分団長 渡辺 静一

分団長 佐藤 榮喜

分団長 本間 賢一

分団長 藤原 博

分団長 佐々木 雄一郎

分団長 佐藤 勇一

元潟村消防団

分団長 菊地 啓一

分団長 角田 茂一

分団長 照井 勇一

分団長 原田 美徳

分団長 佐々木 正

分団長 佐藤 定久

分団長 渡辺 静一

分団長 佐藤 勇一

元潟市消防本部

消防監相裕

元潟東地区消防本部

消防監相裕

元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消防監相裕

元大館市消防本部

消防監相裕

元にかほ市消防本部

消防監相裕

元湯沢市消防本部

消防監相裕

元横手市消防本部

消防監相裕

元大館市消防本部

消防監相裕

元にかほ市消防本部

消防監相裕



選手と応援団の皆さん



激励交流会

第26回 全国女性消防操法大会

■上位の成績

第26回全国女性消防操法大会は10月28日(火)、横浜赤レンガ倉庫イベンント広場(横浜みなとみらい)において、44都道府県の代表44隊が出場し、軽可搬ポンプ操法による競技が行われました。

本県代表の大仙市女性消防隊は、前回の第25回大会(令和5年)に続く出場となりました。

地元消防団をはじめ、老松博行大仙市長など関係者が応援するなか大健闘しました。

大会名	開催年度	出場隊	成績
第18回	平成19年	大館市	準優勝(2位)
第19回	平成21年	秋田市	17位
第20回	平成23年	横手市平鹿	操法中止
第21回	平成25年	大仙市	26位
第22回	平成27年	大仙市	18位
第23回	平成29年	大仙市	28位
第24回	令和元年	秋田市	27位
第25回	令和5年	大仙市	29位
第26回	令和7年	大仙市	20位

第26回全国女性消防操法大会成績表				
順位	都道府県名	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	千葉県	柏市女性消防隊	49.29	90.0
準優勝	福岡県	筑後市女性消防隊	51.90	90.0
準優勝	東京都	八王子市消防団女性消防隊	50.20	89.0
優秀	山口県	和木町女性消防隊	51.25	88.0
優秀	熊本県	八代市本部女性消防隊	44.29	85.5
優秀	三重県	津市女性消防隊	46.28	85.0



操法 ③



操法 ②



操法 ①

【コンクールの概要】

このコンクールは、地域防災のた

令和7年度「防火防災に関する」作文コンクール（生活協同組合全日本消防人共済会主催）の審査が先頃行われ、本県から応募していた、上小阿仁村立上小阿仁中学校三年三浦清香さんの作品が佳作に入選しました。

三浦さん、誠におめでとうござい

ます。これからも防火防災に対する理解を深めて、立派な扱い手になることを期待しております。

防災に関する作文コンクール

だれかのために動くということは
上小阿仁中学校三年

14

令和7年度



競技が終わって

め日夜活動している消防団について、子供たちが感じていることを文章で表現することにより、地域と消防団との関わりを深め、自主的な防火防災の意識の高揚を図ると共に次世代の防災の担い手の育成を図ることを目的とします。

■ 表彰等

- ③佳作若干名 ②優秀賞 2名 ①最優秀賞 1名

外に出て行き私たちを守ろうと、様子を確認してくれていた。さらに地域の消防団に入っている父は十一時から深夜の二時ころまで土嚢を積むなどの作業を頑張っていた。このとき父は今後の被害を予想して、私たちと一緒に行くはずだった奈良への旅行に、自分は行かないことに決めたらしい。みんなで行くことをみんなに楽しみにしていたのに。けれども、誰かのために頑張る父の姿はとてもかっこいいと思えた。

言われている。学校の避難訓練でも毎回のようにそう言われている。しかし、それにも限界があるのでないか。

「自助」「共助」「公助」という言葉はよく耳にする。さらに、「互助」という考え方も新たに付け加えられている。「当事者の周囲にいる近しい人が、自分の発意により手を差し伸べること」とある。自分のことと同じように誰かのために動く、誰かのために活動する。自分の意見で。

したことあることながら、日頃の活動こそ大変さが伴う。自分の仕事があり、さらに消防団としての訓練があり、地域の中で受け入れられみんなで活動できる環境作りなど細かな配慮まで怠ることはない。この村でも復旧・復興に向けたボランティア活動が行われた。父はその活動にも積極的に参加した。誰かのために、なんて素敵な言葉だろうか。

災害というものはいつどこで起きるかわからない、だからこそ、準備は大切というけれども、準備だけで

自分も誰かのために動きたいといふ気持ちがふつふつと湧き上がっている。昨今のテレビのニュースでは、消防団員のなり手が減少していると報じられている。父の後ろ姿を見、その意思を感じている私は、助けられるのではなく助ける側の一員になりたいと強く思つてゐる。災害は避けて通ることができないからこそ、この気持ちをこれからも持ち続け、今できることに積極的に取り組み、いつかみんなと共に地域を守る一員になる。



高田 明さん



開 会 式

第30回 全国女性消防団員活性化長崎大会

来年は北海道で開催

第30回全国女性消防団員活性化長崎大会が、11月13日（木）、「来んね！平和の街へ島々へ、未来へ、長崎でつながる女性消防団！」を大会テーマ

市)で開催され、全国から女性消防団員や消防関係者約2500名が参加しました。本県からは、女性消防団員2名が参加しました。

開会式後 5消防団がそれぞれの活動事例発表を行つたあと、同県平戸市出身でテレビショッピングの「ジャパンネットたかた」社長を務めた高田明氏が「夢持ち続け日々精進」と題して講演を行いました。

実践している防火防災啓発劇を発表し、最後に、日本消防協会秋本敏文会長がパネリストを務め、活動事例発表の女性消防団員とのパネルディスカッションを行いました。

会場には全国各地の消防団展示ブースが設置され、活動事例を紹介しながら交流を深めていました。

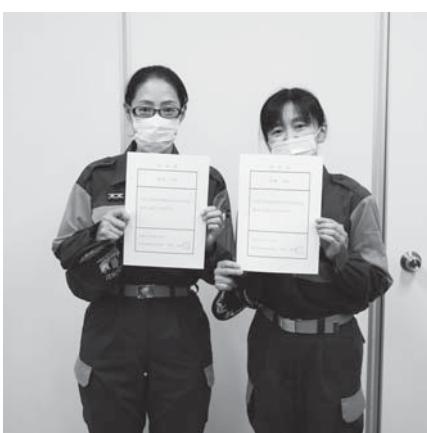
閉会式では、次期開催地の北海道に大会旗が引き継がれました。来年度は、令和8年9月25日、札幌市で開催されます。



展示ブース



防火防災啓發劇



左から阿部総代と佐藤副総代

第15回 女性消防団員教育

秋田県消防学校

第15回女性消防団員教育は、10月18日(土)、19日(日)の2日間、秋田県消防学校で開催され、4消防団から13名が参加し、消防活動訓練(ロープ結索、地震体験、放水訓練等)、訓練礼式、救急訓練等を行いました。

令和8年消防出初式の開催予定

令和7年11月27日現在

市町村	期日	観閲式会場	式典会場
鹿角市	1月4日(日)	秋田銀行花輪支店前	文化の杜交流館 コモッセ
小坂町	1月4日(日)	明治百年通り	小坂町交流センター セパーム
大館市	1月4日(日)	大町ハチ公通り	ほくしか鹿鳴ホール
北秋田市	1月4日(日)	松葉町交差点	北秋田市文化会館
上小阿仁村	1月4日(日)	健康増進トレーニング センター前	上小阿仁村開発センター
能代市	1月5日(月)	能代市畠町通り 二ツ井町駅通り	能代市文化会館
藤里町	1月4日(日)	藤里町役場庁舎前	藤里町総合開発センター
三種町	1月4日(日)	三種町琴丘総合体育館 駐車場	三種町琴丘総合体育館
八峰町	1月4日(日)	沢目駅前	八峰町文化交流センター ファガス
秋田市	1月7日(水)	けやき通り	あきた芸術劇場 ミルハス
男鹿市	1月5日(月)	男鹿市役所～オガーレ	男鹿市民文化会館
潟上市	1月4日(日)	実施なし	潟上市市民センター かたりあん
五城目町	1月5日(月)	朝市駐車場	五城館
八郎潟町	未定	未定	未定
井川町	1月4日(日)	井川町農村環境改善センター前	井川町農村環境改善センター
大潟村	1月6日(火)	実施なし	ホテルサンルーラル大潟
由利本荘市	1月12日(月)	由利本荘市役所前	由利本荘市文化交流館 カダーレ
にかほ市	1月10日(土)	実施なし	金浦体育館
大仙市	1月5日(月)	大曲市民会館 第2駐車場	大曲市民会館
仙北市	1月10日(土)	市民会館	市民会館
美郷町	1月4日(日)	総合体育館 リリオス前駐車場	美郷町公民館
横手市	1月5日(月)	実施なし	横手市横手体育館
湯沢市	1月5日(月)	実施なし	湯沢市文化会館
羽後町	1月5日(月)	羽後町活性化センター	羽後町活性化センター
東成瀬村	1月4日(日)	東成瀬村民体育館	東成瀬村民体育館



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商會

(営業種目) {
 トーハツ小型動力ポンプ
 モリタ自動車ポンプ
 ジエットホース
 消防被服全般
 火災報知器各種
 消火器各種
 }



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕力ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32)3880
FAX (0182) (32)0839

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	消防設備保守点検
トーハツポンプ ◇ キンパイホース	
各種消防機械器具	各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

支部情報アラカルト

横手市支部消防団員研修を実施しました



11月15日(土)、横手市消防本部を会場に「横手市消防団員研修」を開催し、消防団員69名が参加しました。この研修は、消防団員の資質向上を図り、火災をはじめ各種災害への確に対応する消防団員を養成し、消防団の活性化を目的に毎年開催しています。

幹部向け指揮研修では、火災に対する基礎知識に加え、災害現場における



〔情報提供＝横手市支部〕

ける相互の活動内容や注意点を改めて確認しました。特に、消防団は火災発生後、直近即時対応ができることが多く、常備消防隊到着後の情報提供や後方支援などの連携活動が迅速に行えるよう、指揮系統や現場指揮の流れを学びました。

また、機能別団員向け教養研修では、消防署職員の指導の下、小型ポンプの操作訓練を行いました。機能別団員は、基本団員として活動してきた団員が定年等による退団後に再入団しているため、スムーズに訓練している姿が見られました。

横手市支部としては、市民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減に寄与できる消防団員を育成するため、今後もこのような機会を増やしました。

秋田県消防協会の役員に異動がありました。新体制は次のとおりです。
(令和7年11月30日付)

（一財）秋田県消防協会役員異動

会長	横手市消防団長
副会長	由利本荘市消防団長
副会長	能代市消防団長
副会長	阿部一彦
副会長	渡邊正人
副会長	堀井正人
副会長	徹

	令和7年		令和6年		同期比較		
	11月	累計	11月	累計	年計	11月	累計
建物	7	171	15	160	178	- 8	11
林野	0	7	0	25	25	0	-18
車輌	3	27	2	30	31	1	- 3
その他	2	51	1	111	115	1	-60
合計	12	256	18	326	349	- 6	-70
死者数	0	15	2	22	28	- 2	- 7
負傷者数	1	48	4	66	71	- 3	-18

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
TEL (0185) (52)6494
(52)6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消防設備
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防災事業部

〒010-0962 秋田市八橋大畠一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311